



1月17日「防災とボランティアの日」

1月15日～21日は「防災とボランティア週間」

地域防災室

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、全国から数多くのボランティアが駆け付け、様々な活動を実施しましたが、このことが被災地の復興に向けた大きな力となったことから、災害ボランティア活動の重要性が広く認識されるようになりました。

これを契機として、平成7年12月、国民の皆さんが災害時におけるボランティア活動や地域の自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの強化を図ることを目的に、「防災とボランティアの日（1月17日）」及び「防災とボランティア週間（1月15日～21日）」が創設されました。

毎年、この時期には、地方公共団体や関係団体の密接な連携の下、全国各地で講演会や展示会等の災害ボランティア活動に関する様々な普及啓発活動が行われています。

その後も東日本大震災を始め、全国各地で地震や風水害などの自然災害が数多く発生し、甚大な被害をもたらしており、これらの災害による被災地では災害ボランティア活動が献身的に行われています。

平成30年は、6月に大阪北部を震源とした地震が発生し、7月には「平成30年7月豪雨」が、9月には「平成30年北海道胆振東部地震」が発生しましたが、それぞれの被災地において、災害ボランティアによる炊き出しや災害廃棄物の処理など、様々な活動が行われました。

災害ボランティアによる復旧・復興支援、生活再建支

援等の活動は、被災地の復興を早める等、大きな役割を果たしています。しかしながら、被災地における受入体制の構築が困難であるため、ボランティアが十分な活動を行えないことや、広域にわたる災害では、ボランティア支援に偏りが発生するなど、様々な課題が存在するところです。

地方公共団体においては、災害ボランティアの登録制度の設置、登録されたボランティアに対する訓練時及び災害時の活動について補償制度の整備、また災害ボランティアに関するマニュアルや手引きの作成等により、ボランティアの活動環境を整備しています。このほか、災害ボランティア等と意見交換を行う場を設けている地方公共団体もあります。

ボランティア活動に関心のある方は、身近で活動するボランティア団体への参加、活動支援のための募金など、一人ひとりができることから少しずつ参加してみてください。

また、防災とボランティア週間中に全国各地で開催される催しにも是非、足を運んでみましょう。

関連リンク

- ・災害時のボランティア活動の実践コース（消防庁）
<http://open.fdma.go.jp/e-college/kiso/05/kiso05.html>
- ・防災ボランティア関係情報
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/bousai-vol/index.html>



熊本学園大学提供



公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター提供

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部地域防災室 崎谷
TEL: 03-5253-7561